

あさぎ町

議会だより

～“まち”の動きがよく分かる！～

No.75
R5年5.8発行

あさぎ町議会

Q検索



通年議会 第10～12回会議

- 一般会計当初予算 2～7P
- 新議長選出 9P
- 一般質問 12～15P
- 南稜高校意見交換会 22～23P

6,281万円

※万円単位未満は切り捨て



POINT!

令和5年度は町長改選の年に当たり、当初は骨格予算です。改選後6月議会で新町長の政策的予算として計上される見込みです。



地方譲与税、
地方消費税交付金、
ゴルフ場利用税交付金など
5億2,896万円(4.3%)

町民税
固定資産税
軽自動車税
市町村たばこ税

繰入金
基金繰入金

県支出金
11億5,183万円(9.3%)

11億9,890万円
(9.7%)

繰越金
3億円(2.4%)

国庫支出金

14億7,516万円
(11.9%)

諸収入
1億2,809万円(1.0%)

歳入

123億 6,281万円

分担、負担金、
使用料、手数料、
財産収入、寄附金
4億5,423万円
(3.7%)

町債

18億6,600万円
(15.1%)

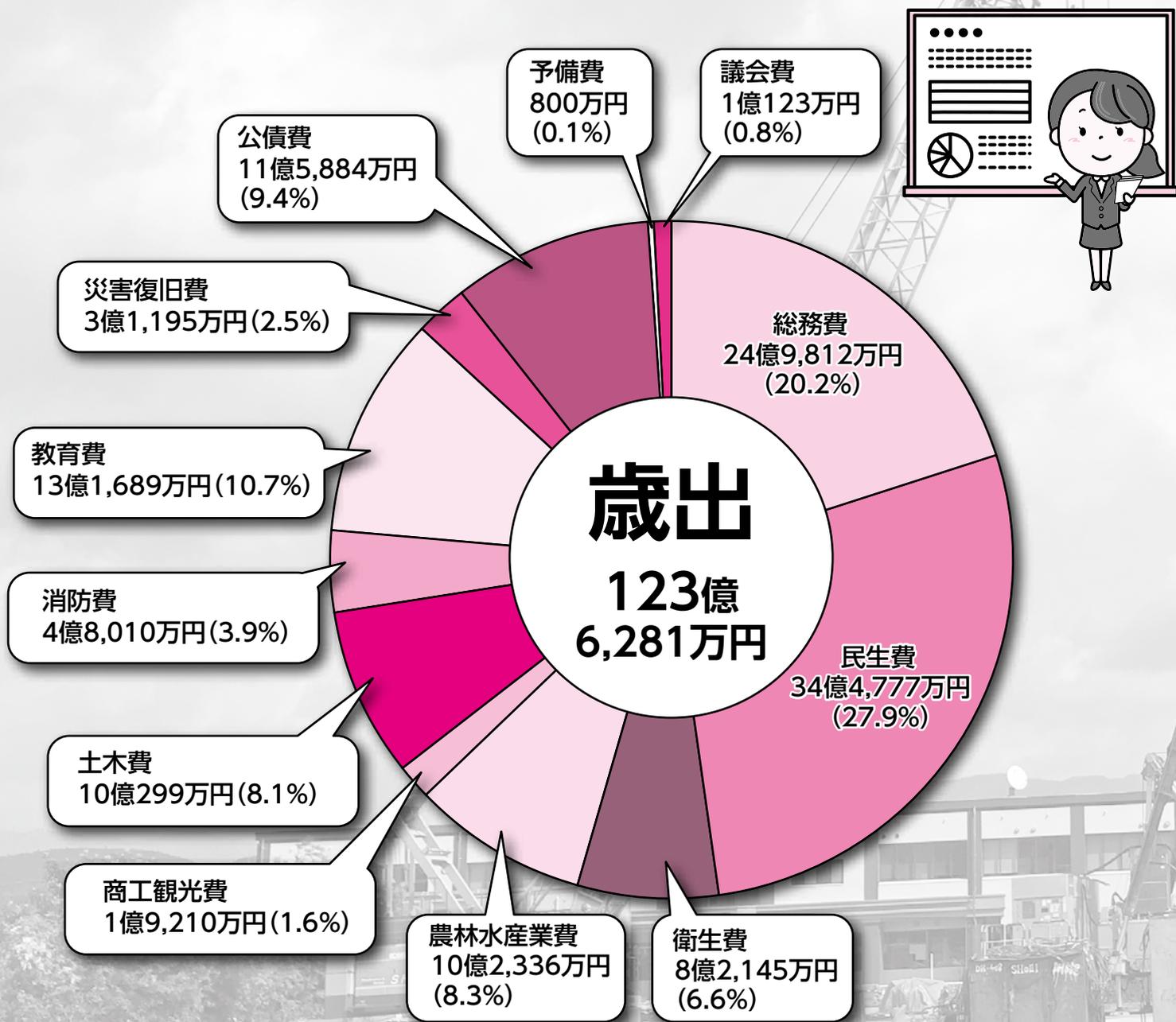
44億1,409万円
(35.7%)

地方交付税

※背景写真は建設中の第2庁舎

令和5年度予算可決
一般会計当初予算

123億



前年度比増加理由の主なもの

- 第2庁舎整備費(継続費のみ) 7億7,288万円
- 中学校校舎長寿命化事業(継続費) 5億4,346万円
- 旧東庁舎解体 6,700万円
- 農業施設解体 7,150万円

一般会計当初予算への質疑(抜粋)

総務建設経済常任委員会所管課分

(総務課・会計課・企画政策課・農業委員会・農林振興課・商工観光課・建設課・上下水道課・財政課)

問

老朽危険空き家除去促進事業補助金は所有者が申請するのか、それとも役場から除去の要請をするのか。

答

対象となる老朽化した建物の所有者から申請していただくことで想定している。ただし、所有者からの申請がなくても危険な空き家については隣人の方の情報提供もあり得るので、その様な場合は役場のほうで所有者を調べこの補助事業についてお知らせする。

問

第2庁舎の使用エネルギーカット75%を認証するベルス認証委託料に132万円計上されているが、その認証を受けることで、町にとってどの様なメリットがあるのか。

答

今後のエネルギー政策、省エネルギーについてPRできる。

問

特定地域づくり協同組合は、8名の農業者の組合での立ち上げで企画政策課の担当となっているが、農業・商業に係る雇用対策事業ならば農林振興課と商工観光課の連携が必要ではないか。

答

4月1日からの稼働であるので、組合員も徐々に増えてくると思う。課の連携について

もこれから準備に入りたい。

問

くま川鉄道とバス路線に補助金を出しながら東西に走る公共交通機関を維持しているが、将来の運行について郡内首長の考え方は協議されているのか。

答

令和4年の当初の頃バスと鉄道のどちらか一つにする必要があるだろうという議論は、始まったところである。

問

企業の農業参入の状況は。

答

21法人の登録があり経営面積は自作地28・4ヘクタール、借入地が115ヘクタール、合計143・4ヘクタール、耕

地面積の約5%に当たる。

問

あさぎり中学校農業体験ラボはどのような農業指導を行っているのか。

答

J AのOBの方2名により、全生徒を対象にミニカボチャ、コスモス、ヒマワリ等の作付けをしたりJ Aから講師を招き「マーケティング研修」等も行った。



厚生文教常任委員会所管課分

(税務課・町民課・生活福祉課・高齢福祉課・健康推進課・教育課)

問 生ごみの処理委託料について、有機センターでは、原材料が不足しているとも聞か、将来的に、町内全域へ運搬回収を広げる考えは。

答 負担金、収集運搬、処理量に比べて事業効果が出ていないために、全域に広げると負担金と収集運搬処理の差が大きくなってしまふ。農地をお持ちの方は自家処理等で対応頂きたい。

問 デマンド交通について 公立多良木病院への乗り入れは須恵地区と岡原地区のみであるが現在の利用状況は。今後全地区へ広げる考えは。

答 令和4年度1月から12月までの集計で、乗車人数は全体で7,567名、うち公立多良木病院への乗り入れは、須恵地区60名、岡原地区115名。多良木公立病院への乗り入れができる地区としては、公共交通機関のバス

や列車等が、その地区を通っていないことが条件で許可をいただいている。

問 コロナ感染症収束後のふれあい福祉センターの今後の利用促進については。

答 12月カルチャースペースの現在の利用者数は5,253名フリースペースは8,832名。社会福祉協議会ではeスポーツなどのイベントも計画して頂いている。イベントの中で実験的に今後活用できるように考えていければと思う。

問 敬老祝い金は、平成24年度までは敬老年金という形で支給されていた。変更後10年が経ち、また金額や該当の年齢は各町村でバラバラであるが、今後見直しの考えは。

答 敬老祝い金は80歳、90歳、100歳の方を対象としている。各町村さまざまであるが、あさぎり町は平均的。今後、高齢者の方々の声を聴きながら検討していく。

問 自殺対策補助金について町の対策事業は。

答 心の相談会を毎月ゲートキーパー講座も実施している。昨年度から2年度に分けて心の健康アンケートもを行っている。

問 英検チャレンジの補助金は、中学3年生が対象だと聞いているが実績は。

答 英語検定の受験に係る保護者負担を軽減するために補助金を出している。補助対象として、1年から3年生まで令和3年度が166人4年度が180人、5年度は239人を予定している。

問 給食費について、光熱費や賄い費等の高騰があるが、給食費に反映するの。山江村や水上村は無償化しているが、将来的な考えは。

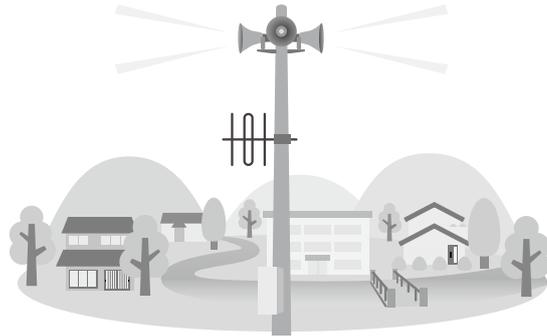
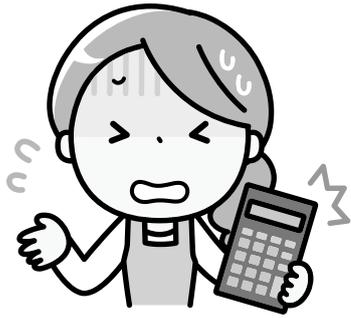
答 物価高騰により影響として給食費の1食単価が小学校では236・1円から262・12円、中学校では277・99円から308・57円と上がっている。差額に関しては、令和4年度はコロナ交付金で対応し据え置いた。無償化については近隣の町村の状況をみて検討していく。



総括質疑

問 物価高騰、資材高騰に対する予算は想定してあるのか。

答 国の財政支援の動向を注視しながら国の有利な財源を活用して、必要な対策を講じていく。国からの臨時交付金等の支援がない場合は一般財源での手当もあり得ると考えている。

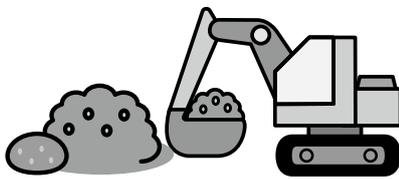


問 告知放送は町長自ら発信せず、担当課にまかせてもいいのではないかという町民の声もあるが。

答 賛否両論あろうと思うが、担当課に任せることも考えていこうと思う。

問 令和2年豪雨災害や今年の台風災害後人吉球磨地域自治体が協力して流域治水ということとで取組みを実施しているが、令和5年予算には具体的に計上されているのか。

答 目に見える形での予算はないが、森林整備計画に基づき100ヘクタールの間伐や人工造林の5ヘクタールがそれに関連する。また町が管理する河川である準用河川の堆積土砂の撤去予算は5年度の予算にも計上している。



問 公共施設に配置してあるAEDを夜間使用できるよう検討すべきではないか。

答 夜間施錠された状態での使用は出来ない事となっている。

問 店舗改装補助金で多目的トイレの設置を促しては。

答 今年度、駅周辺している。これからのまちづくりの中に、そのような施設設備も検討すべきと考える。



R4年度

一般会計補正予算 (第11号)

歳入歳出予算の総額を 5 億 6,287 万 3 千円を減額し

136億1,549万3千円とする。

(主なもの) ※単位未満切り捨て

- ふるさと寄付対策費 (返礼品の遅れ)
..... △7,400万円
- 地域おこし協力隊費 (1名不足分)
..... △182万円
- 児童福祉総務費 (出生祝金)
..... △220万円
- こども医療助成事業費 (子供医療費給付金)
..... △8,218万円
- 多面的機能支払制度事業費 (多面的機能支払交付金)
..... △1,805万円
- 商工総務費 (地域イベント等補助金)
..... △727万円
- 災害復旧費 (くま川鉄道経営安定補助金)
..... △608万円

審議内容の抜粋



あさぎり町返礼品

A これまでの12月時点の実績は前年度の約1.5倍。多いときは3倍の寄付があり、毎月2倍の寄付があるだろうという事で補正をしたところ、12月、1月が推計した額よりも少額であった。返礼品の要望が多かった馬刺しについては、さばく量が限られており、発送までに期間が長くなった事も原因ではないかと考えている。

Q ふるさと寄付金の減と返礼品の減は。

A ヘルシーランド指定管理委託料の光熱費については、積算額に対し10%増減が確認された場合に協議することとなっている。

Q ヘルシーランドの指定管理委託料が昨年の光熱費高騰に伴い増額になっているが。

条例改正 主なもの

- ・あさぎり町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
- ・あさぎり町個人情報保護審査会条例の制定について

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律による改正後の個人情報の保護に関する法律の施行に関し、必要な事項を定めるため、本条例を制定するもの



- ・あさぎり町男女共同参画推進条例の制定について

男女共同参画社会の実現に向けて基本理念を定め、男女共同参画の推進に関する町の施策の基本的事項を定めるため、本条例を制定するもの

- ・あさぎり町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

健康保険法施行令等の一部を改正する政令により、出産育児一時金の支給額（42万円→50万円）の改正が行われたため、条例の一部を改正するもの

- ・あさぎり町免田相撲場条例を廃止する条例の制定について

免田相撲場（八幡区）は相撲場としての機能を有していないため、本条例を廃止するもの



免田相撲場

南稜高校生による雨庭の発表がありました



川に雨水が一気に流れ込むことを防ぐ治水効果が期待される画期的な「雨庭」

森岡新議長を選出

徳永議長より3月3日付で議長辞職願が提出されたことにより、3月14日の本会議において、森岡勉議員を第8代あさぎり町議会議長に選出し、併せて副議長に溝口峰男議員を選出した。



この度、徳永正道議長辞任を受け議長及び副議長選挙が行われ副議長に選任いただきました。選任いただきました以上、職責を果たし議会運営がスムーズにいくよう議長の補佐役として努力してまいります。

議会と施行部との距離は「遠からずとも近からず」です。議会は、2元代表制としての役割を果たすため、町民から「与党・野党」と言われない様に多様な意見を持つ議員各自「是は是、非は非」の議論をしなければなりません。それが町民から信頼を得る議会の姿であると考えます。町民の皆様の福祉向上のため議員一同邁進して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

あさぎり町議会 副議長 溝口 峰男



3月定例会議におきまして、議員各位にご支持頂き、議長の要職に就任させて頂きまして、身に余る光栄に存じる次第です。議会運営につきましては、議会運営委員会を尊重し、不偏不党、公平無私を旨とし、言論の府として議会の円滑運営に専心誠意努力する所存であります。私たちは、2元代表制において時代の要請に応え、効率的で分かりやすい議会運営を行い、多様な声を、政治が身近になる議会の進化に地域コミュニティリーダーとして努めて参ります所存です。今後とも町民の皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせて頂きます。

あさぎり町議会 議長 森岡 勉

議員研修が行われました



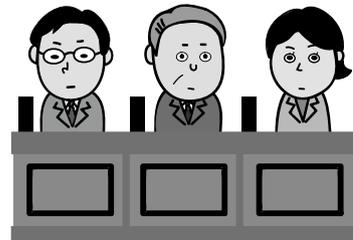
2月17日 球磨郡議長会研修「一般質問とは何か」
講師は熊本大学 伊藤洋典教授



2月8日上球磨正副議長会研修「ウクライナ戦争と日本」
講師は五木村出身 国士舘大学 池田十吾名誉教授

解散決議について

(提出者) あさぎり町議会議員 岩本 恭典
(賛成者) あさぎり町議会議員 難波 文美



提出の理由

地方公共団体の議会の解散に関する特例法第2条※の規定に基づいて、あさぎり町議会を解散するため。

提出者の趣旨説明

平成15年に行財政の効率化を目的に5ヶ町村が合併したが、国の三位一体の改革により当初の見込みとは大きく異なる地方交付税（減額）の措置となった。2019年に発生した新型コロナウイルス感染症、2020年は人吉球磨地域に甚大な被害をもたらした熊本豪雨により、本町の経済及び産業は大きく低迷し、合併当時の人口約1万8,000人が2022年12月末現在で約1万4,500人と減少してきた。さらに、合併特例債が2023年度末で発行期限を迎える中、公共施設の整備計画を進める上で、今後より一層の健全な財政運営が求められる。町長選挙と議会議員選挙を同時に行うことは、これまで多くのあさぎり町民から聞かれた意見であり、有権者の利便性向上と、町の経費削減を考えたとき、我々議員が自ら自主解散をして、町長選挙と同時選挙を行うことの効果は多大であり、このことが何よりも町民の気持ちに寄り添っていると考え解散決議を提出する。

※

地方公共団体の議会の解散に関する特例法 (議会の解散)

第二条 地方公共団体の議会は、当該議会の解散の議決をすることができる。

2 前項の規定による解散の議決については、議員数の4分の3以上の者が出席し、その5分の4以上の者の同意がなければならない。

令和4年度第12回会議 表決一覧表 (抜粋)

議案・認定	議員名	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	小出	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	溝口	森岡
発議第12号	あさぎり町議会の解散決議について	×	○	○	○	○	×	—	○	×	×	×	○	×	×

○：賛成 ×：反対

あさぎり町議会の

質疑

問 メリットだけのチラシを各家庭に持って配布をし、今回の発議は提出者の選挙公約ということだけのパフォーマンスではないか。本当にやめてもいいというような覚悟で提出をしたのか。

答 町民から選ばれた代弁者及び議員として、信念を持ってこの同時選挙に対してはいろいろな活動を行ってきたので、パフォーマンスとは心外である。同時選挙を実現するまでは議員として活動する。

問 チラシを配付した際の住民意思、意向は。

答 住民の意見としては、「同時選挙は以前からずっと言われてきたことなのにどうして行われぬのか」「同時選挙を行うためにはどうすればよいのか」「なぜしないのか」という質問がほとんどであった。

問 中間報告で同時選挙は行わないと委員会で決定したので、町民が納得したとは到底思えないが。

答 委員会での決定は、当然議員として尊重すべきである。しかし同時選挙の問題に関しては、何年も前から多くの町民から望む声が聞かれ、関心があったこと。委員会の際に最終的に3月の本会議場で判断をしていただきたいと発言した。法的拘束がある本会議場で、議員一人ひとり、反対賛成を堂々と示すべきである。

討論

反対討論

- ・昨年12月8日の議会活性化委員会において決定した、同時選挙は今回は行わないとしたことは、重く受け止めるべき。これから議会議員になろうとする町民の芽を絶つことにもなりかねない。
- ・議会の意思に法的拘束力があるかないかより、一度意思決定をして大きな状況の変更がない限り、それを短期間で軽々に取り扱うべきではない。あくまでも4年間の任期を付託されているという意思を持っている。

賛成討論

- ・今回の発議は問題提起である。経費の削減になることはもちろん、政治に対する投票率向上のためになる。
- ・どの自治体も『選ばれる側』のことではなく、『選ぶ側、住民の立場』を尊重して自主解散をしている。
「各議員は住民の代表であり、住民の意思や住民の声を代弁する立場だということを忘れないでほしい」「今の議員に町政を任せていてよいのか不安と不信感を抱いている」との住民からの言葉があるので真を問うてみるべき。
- ・同時選挙の費用を削減するということは、1回では少額の支出であるが、永久に続けていくこと自体は健全財政の運営上好ましくない。いつかは改めるべきである。
- ・町長選に出る候補者の考えと、町議会選に出る候補者の考えを見極めた上で、同時に選ぶことができる。関心を持ってもらうということで、投票の支持率も向上する。投票に関する人員削減と住民負担の軽減にもつながる。

高齢者世帯の見守り施策と次世代の「命と健康を守る」取り組みについて



なんば 難波 あやみ 文美 議員

問 全国的に加速した高齢者世帯の生活状況に対して、見守りにつながる町の施策は。

高齢福祉課長 地域包括支援センターで高齢者世帯の訪問調査活動や見守りＳＯＳネットワーク体制に取り組んでいる。

問 大分県別府市が独居高齢者世帯にGPS端末機器を設置普及しているが町での事業は。

高齢福祉課長

町では2台のGPS機器を所有しており、徘徊が懸念される高齢者の世帯に1か月間試験的に貸与し、メリット

とデメリットを確認した上で購入を検討してもらおう。本体価格は約17000円、年間使用料が6000円必要。合併前から取り組んでいる緊急通報システム事業は、警備会社に委託し現在22軒に設置している。

問 今後の過疎化や地区の統廃合などに伴い、交通手段や様々な理由で投票所に向くことができない有権者が、あきらめることなく貴重な1票を政治に投じる仕組みとして『移動期日前投票所』を導入する考えはないか。

総務課長

投票率アップを図るために近隣では多良木町と球磨村で導入されているのでこれから検討をしていく。

問 小麦の価格高騰を考慮した学校給食の米粉パン導入状況は。

教育課長

工場の製造都合により毎月1回、行事やメニューで対応できない場合を除き提供している。

問 全国各地に昆虫を養殖して食品や調味料に加工する企業が増えているが町内での動きは。

商工観光課長

昨年11月から操業した食用コオロギ飼育事業所があり月に約5万匹、50キロ程度をパウダーに加工して出荷されている。

問 ゲノム編集されたトマトの種苗を全国の小学校へ無償配布するという計画に対して「熊本のタネと食を守る会」が県内45市町村に受け取らないよう要望書を送付された。安全性が確立されていない医薬品や食品を安易に人体に取り込むことは危険である。町としての回答は。

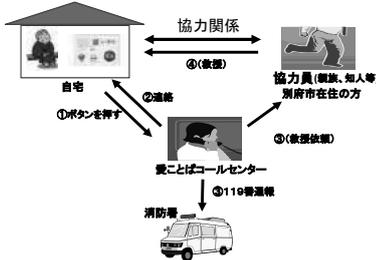
みどりの食料システム戦略に沿うもので、これら有機農業はどんどん広がっていくと思う。町外からもいろんな考えや知識経験、あるいは市場を持った方に来て頂くことであさぎり町の産業や食文化の可能性も広がる。

町長

小・中学校での食育の取り組みと併せて、命を育む『食農教育』が必要である。球磨地域有機農業推進ネットワークの会員さんを農業体験ラボの講師として、種や土づくりなど有機・自然農法の知識を得る実践学習の機会を与えるべきでは。特定地域づくり事業協同組合の活性化のためにも人を呼び込む町の受容力のひとつになるのでは。

問 小・中学校での食育の取り組みと併せて、命を育む『食農教育』が必要である。球磨地域有機農業推進ネットワークの会員さんを農業体験ラボの講師として、種や土づくりなど有機・自然農法の知識を得る実践学習の機会を与えるべきでは。特定地域づくり事業協同組合の活性化のためにも人を呼び込む町の受容力のひとつになるのでは。

別府市ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム ◆据え置き型（Ⅱ）



安全性が危惧されるゲノム編集トマトが熊本で栽培されています!!



かがやま みつこ
加賀山 瑞津子 議員

これからの食の安全教育



問

町では中学生の農業体験ラボや子ども包括支援センターの開設等に取り組んでいる。それぞれの学びの場面で、食育についての副読本等の作成や学習支援は出来ないか。

町長

命と健康を守る農と食の学びについて、例えば日本人の米と味噌汁の朝食は非常に大事である事などを、教育委員会とも連携を深めながら学習支援の場で生かしていきたい。

問

農業体験ラボでは、作物を育てる事にプラスして農家の方の苦労や喜びを学ぶ良い機会だと思う。生徒の参加状況は。

農林振興課長

参加人数は470人、中学生全員が対象。

問

中学生の時に食きっかけづくりには町は取り組んでいる。作物ができるまでに防虫、除草の場面で農薬を使用することもあるが使用の注意点についても学ぶ良いタイミングではないか。

町長

生徒たちは指導員さんから農業の厳しさや農薬の残らないための工夫の説明を受けている。今後は南稜高校とも色々連携しながら一緒にものづくりにできたらと思う。

問

グリホサート系の除草剤には発がん性があり、アメリカでは使用が禁止されているが、日本では普通にお店で販売されている。ぜひ子ども達にも危険性の高い農薬があることや食べ物への安全性を伝えるチャンスでは。

教育長

総合的な学習時間が各学年で設定されているので、その中で取り組んでもらっていく。

問

町の子育て支援情報誌は保健師さんを中心に手作りで作成されている。子育て世代のお母さん達にも便利だと評価されている。その中に食育や食の安全性の項目を入れ込むとか副読本の作成は出来ないか。

問

食育のポイントを知恵をお持ちの高齢者や働き世代との関わり方だと思ふ。今後子ども食堂の展開も出てくると思ふが。

町長

学校教育・地域社会との関わりの中で高齢者の方の食に対する知識・技術を生かしながら、子ども達に食の大切さや食事の作り方を教えていく事は大事。第三の子ども居場所も作っていかなければと思う。

その他質問事項

今後の光基盤の取り組みの中で町のイベント等のテレビ活用は



30年程前に問題提起となった本

持続可能な農業のための 地域資源である下水汚泥の 活用策について



こみた かずゆき
小見田 和行 議員

問

農業生産資材の高騰も長びき、コスト上昇分を農産物価格に転嫁できず、きびしい経営に直面されている作目もある。令和3年産米生産費も農林水産統計によれば60kg当たり全算入生産費は1万4,758円であり、令和4年産は資材等の高騰でそれ以上生産費が上がっている事が予想される。米の概算金は60kg約1万円であり清算金を加えても全算入費を賄えない状況であり普通作米からWCS（飼料用稲）に作付けが変わっていくのも不思議ではない。従来の米作りでは糞は土に返して土作りをしていたがWCSの場合には、全て持ち出される。その対策として耕畜連携を行っているが、有機物の施用の現状をどのように捉えているか。

農林振興課長

WCS後の資源循環の取り組みとして堆肥の散布は約73%である。残りは、イタリアンライグラスとかの牧草の作付ではないかと考えている。取り組み以外の農家も堆肥も入れておられるものも考えている。

問

地力の維持については堆肥をはじめ肥料の施用となるが肥料価格高騰を受け地域資源である下水汚泥の活用策は。人吉球磨広域行政組合の汚泥再生処理センターにおいては「新大地」という名称の肥料を15kg入り1袋1000円、年間1万2,000袋販売しており、肥料価格高騰を受け予約から3ヶ月待ちとの好況ぶりである。また、あさぎり町も含んだ下水道の汚泥を処理する熊本県下水道公社「球

磨川上流浄化センター」

においては、1トン1万3,000円で、一つは県内、二つは県外の産廃業者に引取ってもらっている。昨年決定した「食料安全保障政策大綱」では2030年までに堆肥と下水道汚泥肥料の使用量を倍増する計画を示された。あさぎり町有機センターでの下水道汚泥の肥料化の促進は出来ないか。

農林振興課長

有機センターの施設自体が受け入れ可能状況かを考慮すると厳しい。国の支援等の経緯を見守りながら状況に応じて協議を重ねる可能性もある。



PK有機

TSMCの熊本県進出における経済波及効果の町内誘致策について

問

TSMCの熊本県進出においては県北の関連企業への郡内の若者の流出も危惧されているが、郡内、町内への経済的な好環境を導くことが出来ないか。県との協議が行われていれば、その内容は。

商工観光課長

県としてもTSMC進出の影響を県内全体に波及させたいという目的がある。管内でも人吉球磨仕事創生連絡協議会でTSMC進出に関連する情報収集、交換に努めている。現在まで関連企業からの問合せは管内のどの自治体においてもゼロということである。



みなごし てるこ 議員
皆越 てる子

健康な町づくりについて

問 本町においても健康のまちづくりプロジェクトで、軸となる取り組みを掲げ、実施しているが、大分県では健康寿命日本一を目標に掲げ、さまざまな取り組みを行い、健康寿命を大きく伸ばすことに成功した事例が、「テレビ・今日の健康」で取り上げられたが、熊本県・あさぎり町の健康寿命は。

健康推進課長 熊本県では男性が72・4歳で全国37位、女性が75・59歳で全国24位。また、あさぎり町は国民健康保険被保険者のデータによると、男性が80・4歳、女性が83・1歳。

問 40歳以上の人の医療費では高血圧が1位、糖尿病が2位となっている。人工透析されている人は何名か。

生活福祉課長 更生医療として受付し認定をしているのが、現在48名の方。

問 40歳以下の人の運動不足、令和3年度23・1%。令和5年度40%の目標。今後の取り組みは。

健康推進課長 運動教室の増設や環境整備。エアロバイクの利用・歩数アプリを利用して、運動習慣のない人に向けた身体活動運動に取り組むきっかけづくりを検討し実施を目指す。



グラウンドゴルフの様子

問 体協加入状況は。

教育課長 令和4年度756名。

問 運動教室に参加したの結果が、体力年

齢の若返り、高血圧の改善、体力の向上、肥満の改善が見られたという事だが、今後の計画は。

健康推進課長 令和5年度健幸運動教室100名を募集予定。

問 今後の方策は。

健康推進課長 会場を2ヶ所に増設することを考えている。

問 参加したくても車の運転ができない人についての考えは。

健康推進課長 交通手段についてもどのような形でそれぞれの方が参加できる体制を作るか検討する。

問 自主的に健康づくりをおこなっておられる団体で、体育館の週1回の無料開放とかの考えは。

教育課長 様々な団体が、個人の健康増進等のために使用されておられるので、団

体での使用料で対応している。

問 地区の公民分館で実施されているサロン・百歳体操の実施状況は。

高齢福祉課長 サロン61ヶ所48行政区といきいき体操34地区。

問 健康ポイント500円の還元は。

健康推進課長 令和3年度1,300枚の交換。

問 ふるさと寄附金で、若っかもん健診・健康政策マネジメント支援事業への充当額は、それぞれ何割を占めているか。

健康推進課長 若っかもん健診事業へ98・7%、健幸政策マネジメント支援事業へ98・8%を充当している。

常任委員会報告（抜粋）

総務建設経済常任委員会

〇1月17日（火）
所管事務の調査

●総務課

①改正個人情報保護法の概要について

②あさぎり町空き家対策計画（案）について

町内の空き家は674件、その内倒壊しているもの、または倒壊の恐れのあるものが46件ある。老朽化している危険な空き家の除却を促進するために、今年度中に「あさぎり町老朽危険空き家等除却促進事業補助金交付要綱」を整備し、老朽空き家等の解体に要する費用の一部を助成し住民の生活環境の改善を図る。

問

国も特定空き家等の基本方針を示しているので、この件に関しては、協議会を立ち上げてもっと積極的に取り組むべきではないか。

●現地視察

議事の終了した後には、農林振興課と建設課の案内の元、皆越地区の台風14号被害の山の崩落箇所と農業用水取り入れ口の被災箇所の視察、また、委員からの要望で、井口川の堤防の竹やぶの繁茂の状況、町道の舗装の傷み具合や通学路としての改善を望む箇所等を視察した。

〇2月21日（火）

所管事務の調査

●農林振興課

①施設園芸燃油高騰対策支援金交付要綱について

世界情勢の影響による原油高騰対策として、施設園芸の経営の継続支援を目的するもの。対象作物は、トマト、花卉（花）、イチゴ、キュウリ、果樹である。

問

対象作物は、園芸作目に限定するののか。

答

作目によっては、国や県の支援を受けられる作物もあるようなので、現在その動向を見ながら対応している。

問

この条例中の文言については、現在の社会情勢からも十分に配慮して欲しいと考えるが。

答

文言については、担当課としても十分に配慮していく。

〇3月13日（月）

●委員会付託案件審査

①要望書（製材業者）について
審査の結果…趣旨採択

②要望書（田頭川堤防）について
審査の結果…継続審査

③要望書（あさぎり町飲食業有志）について
審査の結果…継続審査

④要望書（町有地樹木の伐採）について
審査の結果…審議未了（要望書の提出があった後、町が速やかに樹木の伐採を行った事で要望事項が達成されたため）

●総務課

①あさぎり町個人情報保護の保護に関する法律施行条例の制定及びあさぎり町個人情報保護審査会条例の制定について

審査会の5人の委員の選任はどうなるののか。

答

開示請求の事案ごとにそれぞれ選任することになる。

●企画政策課

①あさぎり町男女共同参画推進条例の制定について



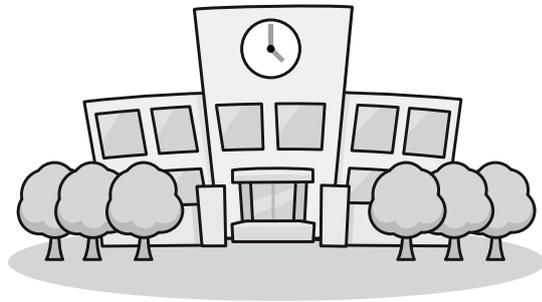
厚生文教常任委員会

○12月8日(木)

●あさぎり町立小学校の適正規模及び適正配置(最終答申)について(教育課)

問 大規模改修をする将来を見据えたところで、将来の展望、改修だけではなく、利用の仕方を含め考えていかないと後々の利用価値が少なくなるのではないか。教育部門だけではなく、国の制度を活用しながら、いろんなことを視野に入れての構想を作成してもらえれば。

答 審議会でも、人口が減少しているが、現在はやはり5校残して欲しいという答申になったが、学校がなくなっても、地域のコミュニティとして残してほしいという意見が多くあった。地域のコミュニティとしての活用方法を考えながら、答申を受けて基本計画構想を考えていきたい。



○1月19日(木)

●令和4年度一般会計補正予算(第10号)について(生活福祉課・健康推進課)

問 出産子育て応援給付金について、対象者190人ということだが、里帰り出産をされる人の対応は。

答 里帰り出産の方は、住所の相談支援については、里帰りしている町村にもお願いできることに

なっているが、給付金の支払いは住所のある市町村で行う。

●あさぎり町文化協会について

教育課より前回の指摘事項を受け、教育委員会でもこれまで調査が出来るのか協議したが、町の補助金交付規則に基づき、文化協会に対し人件費、委託料の予算・決算の部分について指導を行った。教育課で調査できるのはここまでと判断した。令和4年度定期監査時に懸案事項として報告し、補助金の交付については交付先の決算状況についても適切な助言をするよう指導を受けた。今後の改善策として、補助金等交付規則第22条の規定に基づき、必要があるときは、補助金交付団体への立入り調査を行い帳簿書類について検査をし、その用途について確認すると説明があり質疑を行い議事を終了した。

○2月20日(月)

●令和4年度一般会計補正予算(第11号)について(教育課)

繰越明許の具体的理由、給食費過誤返還等の質疑があった。

○3月13日(月)

●「ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い」の継続審査について

前回からの指摘があった他自治体の採択などの情報収集の結果を説明し、人権、外交問題等については、慎重に検討した方が良いという意見もあり、今後、こういう趣旨の請願・陳情等の可能性もあることから、議会の方向性を定めた方がいいのではないかとということ、常任委員会で、今後も調査研究していくことで一致した。



一部事務組合報告

後期高齢者医療広域連合議会

〇2月6日(月) 第1回定例会

議案第1号から議案第12号及び発議第1号並びに一般質問が行われた。

議案第9号、令和5年度の後期高齢者医療広域連合一般会計の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億6,478万2千円 前年度比1,183万7千円の増。

増額の理由は、派遣職員給与等の増が主なもの。

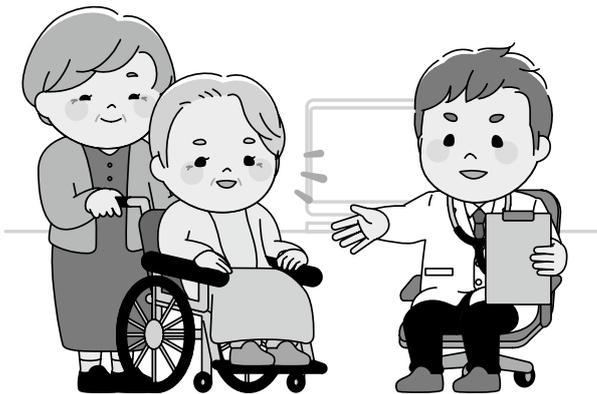
議案第10号、後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ3,126億458万5千円であり前年度と比較し141億3,677万円(4.74%増)。

歳入増の理由は、被保険者数が9,569人3.3%増により保険料等負担金及び国庫支出金、県支出の増が主な

もの。

歳出については、被保険者数の増加による保険給付費及び高額療養費、健康診査実施件数の増加及び高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の取り組み、市町村の増加によるものが主なもの。

議案第1号から議案第12号、発議第1号すべてが、承認・可決・同意され最後に一般質問が行われた。



上球磨消防組合議会

〇2月28日(木) 第1回定例会

行政報告では人吉下球磨消防署との通信指令共同運用について、令和5年度の予算について中嶽組合長より報告があった。

同文議決、県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更の1件。

同組合の個人情報保護法施工条例の制定及び一部改正の3件。

同組合職員、定年制延長の関連整備一部改正及び廃止「分限の手続き及び効果」「懲戒の手続き及び効果」「給与」「定年」「勤務時間、休暇等」「育児休業等」「人事行政の運営等の状況の公表」に関する条例の一部改正の7件。

「再任用に関する条例の廃止」の1件。

令和5年度一般会計予算の歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億9,600万円とする。主なもの、歳出

は高規格救急自動車購入4,090万円、東分署の非常用発電機設置工事670万円。あさぎり町の負担金は2億8,319万円。

議案13件、全議案を原案通り可決した。

一般質問では多良木町選出の猪原議員が消防本部の広域連携、職員の健康管理について消防機器の管理と点検の状況交通事故をはじめとする各種事故防止対策の徹底について執行部に考えをたじた。

公立多良木病院企業団議会

○3月3日(金) 第1回定例会

2名の議員による一般質問の後に議案17件が上程された。いずれの議案も全会一致で承認可決したが、令和5年度当初予算(病院事業、介護老人保健施設事業及び総合検診センター事業会計)については、1日平均入院患者数153人や外来患者数410人、年間延べ検診受診者

2万3,814人などを目標として、損益3,206万2千円の純利益を見込んだ予算編成となっている。

3年間に及ぶ新型コロナウイルス感染症への対応においては、公立多良木病院が当地域で果たす役割の重要性が改めて再認識されてきたが、今後のウィズコロナ社会においても、本年2月に策定された球磨郡公立多良木病院経営強化プランに基づいた健全経営の実現と共に、地域の中核的医療機関としての役割を果たして頂くことを期待したい。

人吉球磨広域行政組合議会

○12月23日(金) 第4回会議

熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について執行部補足説明を受けた後、質疑採択の結果原案通り可決された。委員会閉会中の継続調査について議定された。

閉会後に全員協議会が開かれ、本組合議員定数についての協議があった。

○2月24日(金) 第1回会議

地方公務員法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

人吉球磨広域行政組合会計年度任用職員との給与及び費用弁償に関する条例の制定について

令和4年度人吉球磨広域行政組合一般会計補正予算(第3号)

主なもの、歳入については、資源有価物売却に係る雑入の増額、及び組合債の減額補正。歳出については、電気料の減額補正で、国の「電気・ガス価格激減緩和対策事業費補助金」によるもの。

令和4年度人吉球磨広域行政組合一般会計経費の負担金の総額の補正(第1号)主なもの、交付税算入分執行部の補足説明を受けた後、質疑採決を行い原案の通り可決された。

3年ぶりの議会報告会

住民ら
71人の参加

議会活性化調査特別委員会 委員長 橋本 誠

近年の新型コロナウイルス禍で中止していた議会報告会を1月22日（日）、3年ぶりにポッポ一館で開催した。

・放課後児童クラブ関連について経過報告及び質疑

【経過報告】

令和4年8月25日、執行部から「放課後児童クラブ運営の国の補助金支出に関する基準が令和2年に改正されていたが、当町では改正していなかった。このことにより、令和3年度の補助金支出ができなくなった」と説明があった。全員協議会及び厚生文教常任委員会で複数回の会議を行い、県からの指導にどのように対応していくか等、調査検討を行った。

会議の中では、補助金返還の対象となるが議会としては学童クラブには責任はないことを確認した。執行部の事務的ミスであり、議会に対して令和3年度まで遡及する条例改正案の説明があったが、条例を遡及して改正することは非常にハードルが高いので、全国の事例を確認するよう執行部に依頼した。9月28日の本会議では令和3年度まで遡及する条例改正案が提出されたが否決となった。コロナ禍により住民に対して一連の経過説明会を開催できず、情報提供が不十分であった。

10月27日に、令和4年度の補助金を支給するために令和4年4月から適用するとした条例の一部改正案が議会発議で提出されたが、令和2年4月から適用するとした修正動議が提出され、修正案が可決された。

【質疑】

問 なぜ否決して学童の運営ができないようにされたのか。議会がそのチェックができていない。役場、議会とともに条例に不備があれば、議会と行政がなおすのが本来の姿だと思うが。

答 チェック機能を果たせるよう、今後しっかり注意してまちづくりを進めていきたい。

問 町民が望むのであれば、例外であっても条例を遡及して、改正するのはやぶさかではないかと思う。それが議員の仕事であり、町に対する職務の責任と思う。二度とこのような間違いが起こらないように、議会と町が協議をして対策を講じることが大事だと思うが。

答 議会も一生懸命考えているので、是非この辺をご理解いただきたい。

問 今後、学童がどうしていいのかも分からない状態で運営しているので、助言していただけるような運営の在り方を示していただきたい。会長、保護者の話を聞きに行った議員がいないと聞いている。そういった思いを聞いてくれる議員になってもらいたい。

答 我々議員が、町民の方々の負託に応えてない。これを機に役場の所管課や委員会で保護者会も交え、今後話し合いを設けて問題への取組を進めていきたい。

【意見】

- ・遡及の問題云々よりも、町の宝をどう守っていくことのほうが大きな問題。これからもまたそういう問題が起きたときには、ぜひ現地の調査、足を運び、よく当該者の話を聞き、議会で相談、協議をしていただきたい。
- ・今回の件で1番困ったのが、補助金を返すお金がないとかではなく、明日明後日から子どもをどこに預ければいいのか不安ということだった。私たちも、いろんな議会紙が回ってくる際、ちょっと目を通したりして、知らん顔するのではなくて、興味を持って生活できたらいいのかなと、今回の件で分かった。



・議会に対する要望

【意見】

- ・学童保育を含めて、議会に対する皆さんの関心がかなり高まったと感じている。ずっと議会中継を傍聴し1番思ったのは、議会と行政と一緒にやって町民のためにやろうというのが伝わってこない。
- ・討論も質問もないなら議会の存在意義がなくなる。傍聴された方々に、もっと説明をする義務があるのではないかな。

その他の議会に対する質問や意見（アンケートより）

- ◎議会に対する意見箱は、どこにあるのか。（50代性別なし）
- ◎定期的に報告会は必要。若い人や有権者の関心、意見を聞き、議会運営に取り入れて欲しい。（60代性別なし）
- ◎町の予算削減のため、町長、議員同一選挙の賛成の声が多々聞かれている。しっかりと討議してほしい。（60代性別なし）
- ◎報告会や議会に関心がなかったが、私の大切な一票を投じるためにも、積極的に参加したい。（60代女）

3月20日南稜高校において昨年に引き続き意見交流会を開催。

意見交流会を開催するにあたりましては森岡議長様をはじめ11名の議員の皆様方にご参加いただき、心から感謝申し上げます。本会は生徒たちが主体的に取り組んだ探究的な学びを提言として発表するとともに、議員の皆様方との意見交流をとおして、議会を身近に感じ、地方行政への関心を高めることを目的に開催しています。今年度のテーマは「高校生が考える今後の人吉球磨」で、各学科の代表となった5グループが発表させていただきました。グループごとに講評もいただき、広い視野と先見性を持った人材育成の足がかりとなりました。今後もご支援をよろしくお願いいたします。

熊本県立南稜高等学校

校長 増村 健治

昨年度から高校生と議員の方々との交流会を実施させて頂き、この交流会は生徒自らが政治に関わる大きな一歩となっていることを実感しております。今後もご支援の程よろしくお願いいたします。

熊本県立南稜高等学校

教諭 野崎 翔

普通科 **災害が起こりにくい地域にするには**

尾方 柚希・奥園 瑠綺亜・宮本 佑美



発表のポイント

- ・建物や橋の補強
- ・防災イベントの実施
- ・避難場所の備蓄

今回私たちが提案したことは、「建物や橋の補強」「防災イベントの実施」「避難場所の備蓄」です。今回のあさぎり町の議員の方々との交流会は、とても良い経験になったと思います。今の自分たちが地元のために「何ができるか」を考える良い機会になりました。今回学んだことを今後にかかしていきたいと思います。

高校生の視点で建造物の強じん化に注目され調査された内容は非常に分かりやすくまとめがあり、防災について各家庭での話し合いや情報共有が重要である事を再確認できました。これからも発表された事を基に、町の防災に関心を寄せて頂きたいと思えます。

担当議員 難波 文美

総合農業科 **人吉球磨の森林資源を活用した地域活性化へ**

井上 夢来・千代島 美花・田爪 輝緒・瀬戸口 海斗



発表のポイント

- ・森林の状況を改善した上で森林資源を地域活性化へ
- ・未利用木材を加工し、木工材料に活用
- ・木育イベントの開催による地域活性化

私たちは地域の森林について発表しました。高齢化や、若者の減少によって未整備森林が増加していることを知り、改善するべきだ

と思い、この問題に焦点を当てました。あさぎり町を少しでも良くしたいという気持ちでこの問題に取り組みました。議員の方々の前で直接提案することができて良い経験となりました。

森林は保全することだけでも脱炭素に貢献してきます。燃料の自給率向上や、化石燃料からの代替えとしての未利用材の木質ペレット加工等、森林資源の活用は今後増えていくことが予想されます。未来へ手渡す森林と自然環境が持続可能でありますよう、高校生の皆様の活躍に期待します。

担当議員 小見田 和行

総合
農業科

自然災害から人吉球磨
地域を守るために

松永 望愛・川野 愛蘭・小島 真歩・西 彩名



- 発表のポイント**
- ・自助・共助を学べ、楽しくできる防災訓練の実施
 - ・ふるさと納税の取組みの認知度を高める

私たちは水害に関する提案をさせていただきました。この取り組みを行って感じたことは、地域の方といざという時の助け合い

や避難を促す言葉や励ましの言葉を掛け合える事ができるコミュニケーションが必要であるということです。私達も住んでいる地域に向き合い、地域の課題解決に貢献していきたいと思いをしました。

近年、気候の変動により温暖化の影響で全国各地で災害が多発しました。そういう中で高校生の発表を聞いて、防災に関する意識の共有をどう住民に広げていくのかを痛感しました。特に防災訓練に関して子どもから大人まで、遊び心を取り入れた楽しくできるという提案には注目です。

担当議員 豊永 喜一

食品
科学科

人吉球磨の災害への援助

荒川 詩織・宮本 夢巴・山田 侑奈・矢立 玲奈



- 発表のポイント**
- ・避難マップの定期更新
 - ・マップパズル
 - ・地域毎の避難マップの作成・掲示

私たちは人吉球磨の災害への援助について調べました。問題は、災害があつたときに地域からの支援が十分ではなかつたこと災害への対処

がスムーズにできていなかったことです。私たちにできることは、自分の周りの人とコミュニケーションを取り、心の傷を癒やすことで、少しでも不安を取り除いていくことだと思いをしました。

パズルを使つての避難マップ作りはオリジナリティがあり、町でも取り入れていただくようお願いしたいと思ひます。将来は、少子高齢化が進む地元で働いて「共助」の観点からあさぎり町の災害対策に寄与してくれればと期待します。

担当議員 岩本 恭典

生活
経営科

令和2年7月豪雨災害を
通しての災害復興

池田 菜月菜・小見田 華乃・竹田 莉奈



- 発表のポイント**
- ・災害復興の資金について
 - ・過去の災害から学ぶ
 - ・人吉災害復興活動について
 - ・復興ボランティア

あさぎり町の議員の方々の交流は自分にとって成長できる機会だと感じました。私たちのグループは令和2年7月の豪雨災害を通

しての災害復興について調べ提案を行いました。今回のプレゼンを通して人吉市だけでなく国や市と協力することが大切だと思ひました。私たちが生まれ育つた町をこれからも大切にしたいです。

今回皆さんがこのテーマで取り組んでくれたことに意義があると思ひます。令和2年豪雨はコロナ禍での災害でもありました。今後新たな課題にぶつかるとも思ひますが「共に助けあう」「命を守る」ことについて議会も皆さんと共に進めていきます。

担当議員 加賀山 瑞津子

町民の声

このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力を願います。

町内の方々に寄稿していただきました



出口の先には夢がある

長いトンネルの先には

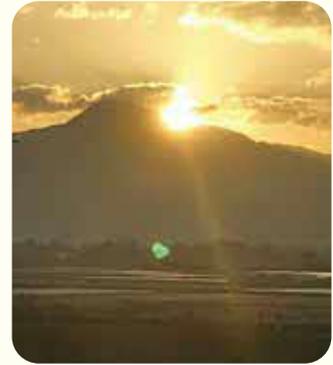
須恵地区（覚井） ^{くぼた ひろし} 久保田 浩さん

日本で一番長いトンネルの長さをご存じでしょうか。東京首都高速の山手トンネルで18,200mもある。肥後トンネルは6,340mなので約3倍の長さである。ここに入ったら出るまでスムーズに行って約20分。渋滞に遭ったなら一体どれくらいかかるのであろう。羽田から北関東や甲信越方面に行くときは必ずここを通る。旅行だとガイドさんもいてワクワクするものだが、令和3年の年明けより日本で広まってきた新型コロナウイルスという長い長いトンネルは、3年もの月日経ちようやく出口が見えようとしてきた。

その間には、多くの方が亡くなり、経済も衰退、お店が無くなり、行事が無くなり暗黒の期間であったように思う。私自身も仕事を変えるべきか考慮した時でもあった。

しかしながら、人類（先人達）は今まで大きな壁（災難）に遭遇しては乗り越えてきた。明治維新しかり、第2次世界大戦敗戦しかり、関東大震災等の様々な自然災害からも復興してきた。今度は、私たち世代が次世代へとしっかり引き継ぐ時ではなかろうかと思う。

還暦を目前にして、今一度夢を持ち成就することをイメージして生きていこうと思っている。あの時代は良かったと振り返ることもあるが、未来の自分へワクワク感を持ち、次世代を担う子どもたちへと後ろ姿を見せたいと思う。



明るい未来への希望の光

■表紙の写真について

3年ぶりに鳴り響く
消防ラッパ



編集後記

令和5年3月定例会において、冒頭議会だより掲載のとおり、議長・副議長新体制のもと、町民に寄り添い、町の発展に頑張っている、町の発展に頑張っているかなければと心を新たにしたい。また、新型コロナウイルスのリスクも緩和され、社会参加で健康なまちづくり、そして、健康寿命を延ばしましょう。

（皆越 てる子）

編集発行者

議長 長森岡 勉

広報調査特別委員会

委員長 小谷 節雄
副委員長 難波 文美
委員 小見田 和行
委員 皆越 てる子
委員 橋本 誠
委員 加賀山 瑞津子



★お願い★ 「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。

